

『Python でつくる対話システム』（第1版第1刷）正誤表および補足情報

正誤表

頁	箇所	誤	正
8	図 1.2 キャプション	Terry Winogra, “GUS, A Frame-Driven Dialog System,” Artificial Intelligence,	Terry Winograd, “GUS, A Frame-Driven Dialog System,” Artificial Intelligence,
44	9 行目	lang=ja&lang=ja	lang=ja
45	16 行目	lang=ja&lang=ja	lang=ja
61	図 2.7	date 天気	type 天気
165	脚注	...dbdc3/datasets/	...dbdc3/datasets
224		「キャラクター性」のコラムが3章末と4章末に掲載されています。	正しくは「対話システムとプライバシー」のコラムが入ります。

Coffee break

対話システムとプライバシー

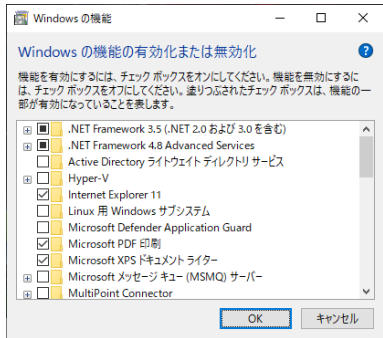
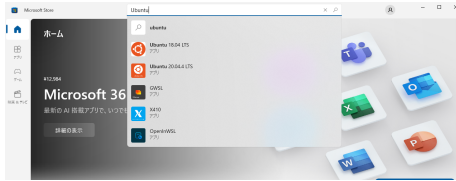
対話システムと倫理は隣り合わせです。

特に、Amazon Alexa や Google Home のような家庭用 AI スピーカは、その立場上、家で行われるすべての会話を聞けてしまうため、便利さとプライバシーの両立ができるよう配慮しなければなりません。今の AI スピーカは呼びかけ（“Alexa” や “OK, Google” など）をしなければ会話は始まりませんが、より便利さを追求するなら、ユーザのひとりごとを聞き取って、勝手に対話を始めるような仕組みも考えられます。たとえば、「あ、トイレトペーパーがなくなりそう！」とユーザが言ったときに「いつも購入しているトイレトペーパーをオンラインで注文しましょうか？」と AI スピーカが手助けしてくれれば、それは便利でしょう。しかし、これはユーザのひとりごとをシステムがすべて聞いているということにもなります。もし、あなたが宝くじに当たったことを AI スピーカが聞いていて、それを誰かに伝えてしまったらどうなってしまったでしょうか。クレジットカードの番号は？ 口座の暗証番号は？ 盗み聞きされて困る話を AI スピーカの近くでしてしまったことはありませんか？

また、怖いのは盗み聞きだけではありません。システムがユーザと対話する際に、ユーザに名前を教えてくださいとか、誕生日はいつですかとか聞いたりすることは一見ごく自然です。しかし、ペットは飼ったことありますか？ ペットの名前は？ 親の旧姓は？ あなたが通った小学校の名前は？ 好きな食べ物は？ などなど……と聞いてきたときは、注意が必要です。心ない人によって作られた対話システムが、あなたの個人情報を聞き出して、パソコンの管理者権限を盗んだり、勝手に Amazon やパソコンのアカウントを不正利用して、あなたのクレジットカードで買い物をしたりしようとしているかも？

第1版第2刷にあたっての補足情報

ここでは、第1版第1刷発行（2020年3月発行）からのアップデート情報などを掲載しています。

頁	箇所	第1刷	第2刷
13	下から6行目	「Windows Subsystem for Linux」	「Windows Subsystem for Linux」もしくは 「Linux用 Windows サブシステム」
13	下から2行目	Ubuntu 18.04 LTS	Ubuntu 20.04.4 LTS
13	下から6行目	「Windows Subsystem for Linux」	「Windows Subsystem for Linux」もしくは 「Linux用 Windows サブシステム」
14	図 1.4		
14	図 1.5		
14	下から2行目	Ubuntu 18.04 LTS	Ubuntu 20.04.4 LTS
16	5行目	まず、Git のインストールを行います。	まず、Git のインストールを行います。なお、すでにインストールされている場合もあります。
16	下から8行目	macOS \$ /user/bin/ruby -e "\$(curl -fsSL https://raw.githubusercontent.com/Homebrew/install/master/install)" \$ brew install git	macOS \$ /bin/bash -c "\$(curl -fsSL https://raw.githubusercontent.com/Homebrew/install/HEAD/install.sh)" \$ brew install git
18	図 1.8	elasticsearch-7.2.0	elasticsearch-7.5.1
18	下から3行目	Python 3.6.7	Python 3.8.10
19	9行目	macOS 環境では、最初は Python 2 系がインストールされていますが、今回は利用しませんので、新たに Python 3.6.7 をインストールしましょう。	macOS 環境では、バージョン 11 から Python のプリインストールがなくなりました。そのため、Python 3.8.10 をインストールしましょう。
19	10行目	“Looking for Python with a different OS? Python for Windows, Linux/UNIX, Mac OS X, Other” と書いてある中の Mac OS X を選びます。	“Looking for Python with a different OS? Python for Windows, Linux/UNIX, Mac OS, Other” と書いてある中の Mac OS を選びます。

19	13 行目	そして、Stable releases の中から Python 3.6.7 の Download macOS 64-bit/32-bit installer をクリックし、インストーラーをダウンロードします。 ダウンロードした python-3.6.7-macos10.6.pkg というファイルをダブルクリックし (中略)Python 3.6 というフォルダが開きますので、(後略)	そして、Stable releases の中から Python 3.8.10 の Download macOS 64-bit Intel installer をクリックし、macOS のバージョンにあったインストーラーをダウンロードします。 ダウンロードした python-3.8.10-macosx10.9.pkg というファイルをダブルクリックし (中略)Python 3.8 というフォルダが開きますので、(後略)
20	12 行目	<pre>\$ pip3 install mecab-python3</pre>	<pre>\$ pip3 install mecab-python3==0.996.5</pre>
21	下から 4 行目	まず、以下の URL から Telegram をダウンロードし、アカウントを作成してください。 Telegram は	まず、以下の URL から Telegram をダウンロードし、アカウントを作成してください。 https://telegram.org/ Telegram は
22	1 行目	Telegram for PC/Mac/Linux	Telegram for Windows/Mac/Linux
22	3 行目	電話番号が必要です。 https://telegram.org/	電話番号が必要です。Telegram を使用せず、コンソール上で対話システムを動作させるプログラムを本書のサポートページ (GitHub) に用意しています。使用方法などの詳細はサポートページでご確認ください。
26	下から 3 行目	<pre>\$ pip3 install python-telegram-bot</pre>	<pre>\$ pip3 install python-telegram-bot==12.8</pre>
44	図 2.3 のキャプション	上部の Sign Up から新規にユーザ登録をする。	上部の Sign Up から新規にユーザ登録をする。 Sign Up が見当たらない場合は、上部の Sign in を選択し、その後 Create an Account を選択する。
52	16 行目	前に pip で入れておきましょう。	前に pip で入れておきましょう。なお、すでにインストールされている場合もあります。
131	1 行目	<pre>\$ pip3 install python-aiml</pre>	<pre>\$ pip3 install python-aiml==0.9.3</pre>
134	下から 6 行目	(紙面の都合上、改行されていますが curl から始まる行は 1 行で入力してください)。	(紙面の都合上、改行されていますが curl から始まる行は 1 行で入力してください。また、“-0” はハイフン オーです。ハイフン ゼロと間違えないようにしましょう)。
136	下から 1 行目	<pre>\$ pip3 install elasticsearch</pre>	<pre>\$ pip3 install elasticsearch==7.5.1</pre>
139	9 行目	<pre>\$ pip3 install python-Levenshtein \$ pip3 install gensim \$ pip3 install pyemd</pre>	<pre>\$ pip3 install python-Levenshtein==0.12.0 \$ pip3 install gensim==3.8.1 \$ pip3 install pyemd==0.5.1</pre>

146	下から4行目	<pre>\$ brew install unzip \$ unzip latest...(後略)</pre>	<pre>\$ brew install unzip</pre> <p>その後、以下のコマンドを実行してください。</p> <pre>\$ unzip latest...(後略)</pre>
150	2行目	<pre>\$ pip3 install torch==1.2.0+cpu torchvision==0.4.0+cpu -f https:// download.pytorch.org/whl/torch_stable .html</pre>	<pre>\$ pip3 install torch==1.4.0+cpu torchvision==0.5.0+cpu -f https:// download.pytorch.org/whl/torch_stable .html</pre>
150	5行目	<pre>\$ pip3 install torch==1.2.0 torchvision ==0.4.0</pre>	<pre>\$ pip3 install torch==1.4.0 torchvision ==0.5.0</pre>
158	下から4行目	<pre>!pip install transformers=2.1.1 !pip install tensorboardX==1.9 !git clone https://github. com/huggingface/transformers.git -b v2.1.1</pre>	<pre>!pip install torch==1.4.0+cu92 torchvision==0.5.0+cu92 torchaudio ==0.4.0 torchtext==0.5.0 folium ==0.2.1 -f https://download.pytorch. org/whl/torch_stable.html !pip install configargparse transformers==2.1.1 tensorboardX==1.9 !git clone https://github. com/huggingface/transformers.git -b v2.1.1</pre>
159	1行目	最初のコードセルでは...(中略)...また、2行目では、	最初のコードセルの1行目では、本書のバージョンに合わせたPyTorchのインストールと、そのために必要なライブラリをインストールしています。なお、このコードセルはGoogle Colabのアップデートにより、動作しなくなる可能性があります。本書のGitHub上では随時動作するように更新していきますので、最新のコードはGitHub上でご確認ください。2行目では、transformersライブラリとその実行に必要なライブラリをインストールしています。また、3行目では、
159	9行目	実行すると、「Go to this URL...(中略)...エンターキーを押してください。	実行すると、「このノートブックに Google ドライブのファイルへのアクセスを許可しますか?」と表示されるので「Google Driveに接続」をクリックし、使用するアカウントを選択してください。次に、表示されるページで「許可」ボタンをクリックしてください。

165	下から3行目	Development Data for Japanese という項目からダウンロード可能です。	Development Data for Japanese という項目からダウンロード可能です。なお、Safari などの一部のブラウザを利用している場合、zip ファイルをダウンロードすると自動で展開される可能性があります。その際は、Google Chrome などの別のブラウザを利用してダウンロードしてください。
182	12行目	<pre>\$ pip3 install tweepy</pre>	<pre>\$ pip3 install tweepy==3.8.0 urllib3==1.26.9</pre>
185	12行目	<pre>!git clone https://github.com/OpenNMT/ OpenNMT-py.git -b 0.9.2 !cd OpenNMT-py; pip install -r requirements.txt</pre> <p>まず、上の1行目では...(中略)... インストールを行っています。</p>	<pre>!pip install torch==1.4.0+cu92 torchvision==0.5.0+cu92 torchaudio ==0.4.0 torchtext==0.5.0 -f https://download.pytorch. org/whl/torch_stable.html !pip install spacy==2.2.2 panel==0.6.4 fbprophet==0.5 holoviews==1.12.4 configargparse !pip install OpenNMT-py==1.0.0 !git clone https://github. com/OpenNMT/OpenNMT-py.git -b 1.0.0</pre> <p>まず、上の1, 2行目では、本書のバージョンに合わせたPyTorchのインストールと、そのために必要なライブラリをインストールしています。3行目でOpenNMTをインストールし、4行目ではOpenNMTのソースコードをダウンロードしています。</p>
185	下から8行目	実行すると、...(中略)... エンターキーを押してください。	実行すると、「このノートブックにGoogleドライブのファイルへのアクセスを許可しますか?」と表示されるので「Google Drive に接続」をクリックし、使用するアカウントを選択してください。次に、表示されるページで「許可」ボタンをクリックしてください。
188	下から9行目	<pre>\$ git clone https:</pre> <p>(中略)</p> <pre>\$ sudo python3 setup.py install</pre>	<pre>\$ pip3 install OpenNMT-py==1.0.0</pre>
199	12行目	実行体となっているので注意してください。	実行体となっているので注意してください。また、Amazon Alexa や Google Home のスキル・アプリケーションの開発サービスは提供元であるAmazon や Google のアップデートにより、操作画面や操作方法が変更される場合があります。そのため、執筆当初の内容から変わっている場合もありますので注意してください。
202	6行目	その下に小さく書かれている	小さく書かれている
202	6行目	ngrok-stable-linux-amd64.zip	ngrok-stable-linux-amd64.tgz

202		<pre>\$ unzip ngrok-stable-linux-amd64.zip</pre>	<pre>\$ tar xf ngrok-stable-linux-amd64.tgz</pre>
203	3行目	吹き出し1が指しているコマンドをコピーして、コンソールに貼り付けて実行しましょう。	吹き出し1が指しているコマンドをコピーして、コンソールに貼り付けて実行しましょう。もし、コマンドを実行してもうまくいかない場合、“ngrok” コマンドの先頭に“./”をつけて、“./ngrok” にしてみてください。続くコマンドを実行する際も同様です。
209	下から1行目	<pre>\$ pip3 install flask-ask==0.9.7 \$ pip3 install pyOpenSSL -no-cache-dir -I</pre>	<p>Windows</p> <pre>\$ sudo apt install libssl-dev \$ pip3 install flask-ask==0.9.7 pyOpenSSL==17.0.0 Werkzeug==0.11.15 itsdangerous==2.0.1 'cryptography <2.2' MarkupSafe==1.1.0 Jinja2 ==2.11.3</pre> <p>macOS</p> <pre>\$ brew install openssl@1.1 rust \$ env LDFLAGS="-L\$(brew --prefix openssl@1.1)/lib" CFLAGS="-I\$(brew --prefix openssl@1.1)/include" pip3 install flask-ask==0.9.7 pyOpenSSL ==17.0.0 Werkzeug==0.11.15 itsdangerous==2.0.1 'cryptography <2.2' MarkupSafe==1.1.0 Jinja2 ==2.11.3</pre>
213	下から8行目	https://dialogflow.com/	https://dialogflow.cloud.google.com/

以上